

墨田区のお知らせ2012.10.21 NO.1690 (毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) ☎5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2面…年末調整等合同説明会
- 3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●10月26日：「すみだトリフォニーホール」が開館した日  
 平成9年のこの日、「音楽都市すみだ」の核となる施設「すみだトリフォニーホール」(錦糸1-2-3)が開館した。区とフランチャイズ提携を結んだ「新日本フィルハーモニー交響楽団」の本拠地として、充実した公演等が行われている。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

## “魅力あふれる交流”をさらに深め、促進していくために 栃木県鹿沼市と「友好交流・協力に関する協定」を締結

区は今年13日に、栃木県鹿沼市と「友好交流・協力に関する協定」を締結しました。校外学園「あわの自然学園」の開設をきっかけに始まった住民同士の交流や、平成18年に結んだ「災害時における相互援助に関する協定」を踏まえ、今後も交流を深め、お互いの地域の活性化を図っていきます。

### 交流の主役は、あなたです

皆さんは、栃木県鹿沼市を訪れたことがありますか。小学校の移動教室で、粟野町(現・鹿沼市)にある「あわの自然学園」を訪れた思い出がある方も多いかも知れません。

区が昭和53年に、この「あわの自然学園」を開校したことをきっかけとして、鹿沼市とは、「スポーツを通じた青少年交流」や「区内イベントへの参加を通じた区民交流」などが継続的に行われてきました。また、

平成18年には「災害時における相互援助に関する協定」も結びました。

こうした経緯を踏まえ、区は、今年13日に鹿沼市と「友好交流・協力に関する協定」を締結しました。今後も、交流の主役である区民・市民の皆さんとともに、新たな交流などを促進していきます。この協定の締結をきっかけとして、墨田区と鹿沼市の両地域の活性化をめざし、さらに交流を深めていきましょう。

【問合せ】文化振興課文化・国際担当 ☎5608-6212



交流を始めるきっかけとなった、鹿沼市上粕尾にある「あわの自然学園」(写真上)

山崎区長と鹿沼市の佐藤市長が協定書を取り交わしました(写真左)

### 花と緑と清流のまち「鹿沼市」

栃木県の中央部に位置し、墨田区から電車で約80分の鹿沼市は、自然豊かなところ。市の約7割は森林で覆われており、奥深い山々と、それを源流とする多くの河川によって、「花と緑と清流のまち」が形成されています。また、そうした自然の恵み豊かな環境から生まれる農産品や木工製品が特産品です。



鹿沼市名産「とちおとめ」(左上)と「にら蕎麦」(右上)、一面に広がる蕎麦畑(下)

### 鹿沼市の基本データ

人口	10万1079人(10月1日現在)
面積	490.62km <sup>2</sup>
市の花	サツキ
市の木	杉
特産品	いちご、ニラ、トマト、蕎麦、鹿沼牛、木工製品など



毎年10月に開催される「鹿沼ぶっつけ秋祭り」

### 協定の締結により、期待できること

#### 災害発生時の協力体制

地震などの災害発生時には、避難場所の提供や物資の援助等、速やかな対応や積極的な連携を図ることができます。

#### スポーツ交流の促進

「少年サッカー」や「少年野球」の交流を、継続して支援するとともに、新たなスポーツ交流を進め、仲間づくりなどを促進できます。

#### 豊かな自然を活かした体験

様々な世代が豊かな自然に親しむことができ、都会では味わえない貴重な体験をすることができます。



鹿沼市の豊かな自然を活かし、区が行っている「森林整備体験事業」

### サッカー交流で“人と人とのつながり”を



鹿沼市サッカー協会 副理事長 北岡敏行さん



どちらのチームも、みんな全力でプレーしています

サッカーを通じた墨田区との交流は、鹿沼市と合併する以前の粟野町のときから続いており、毎年、8月には鹿沼市で、3月には墨田区で、親善交流試合を行っています。

今年は特に、開業前の東京スカイツリー®️を間近で見ることができたので、子どもたちにとって良い思い出になったのではないのでしょうか。これからも、子どもたちが様々な体験をできるよう、人と人がつながるサッカー交流を続けていきたいですね。

### 野球以外でも子どもが交流する機会を



墨田区少年野球連盟 事務局長 村田明夫さん



交流の一環として、試合前にプレゼント交換も行っています

毎年8月に少年野球の「墨田選抜チーム」の合宿を鹿沼市で行っており、豊かな自然に囲まれたグラウンドでの練習や、鹿沼市のチームとの交流試合で汗を流しています。

合宿では、「あわの自然学園」に宿泊するのですが、保護者の多くが、小学生のときの移動教室で訪れたことがあるため、とても懐かしがっています。これからは、野球の交流試合以外にも、子どもが交流するイベントをもっと増やしていきたいですね。